

【目標達成計画】

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	○身体拘束をしないケアの実践 経験年数が少ない職員は身体拘束に関する知識が理解出来ていない部分があり、拘束と誤解される対応があるように感じる。常に見られていると言う意識を持ち、誰が見ても気持ちの良い対応に心掛けたい。	高齢者の尊厳を傷つけないような声掛けや対応を心掛けていきたい。いつ誰がみても気持ちの良い対応だと感じてもらえるような対応をしていきたい。	<ul style="list-style-type: none"> 定期的な勉強会を実施し、情報の共有を図り、振り返りの場を作る。 スピーチロックだけでなく拘束とは何かを職員で話し合い拘束しないケアの方法を検討する。 玄関には常に鍵が掛かっているため拘束と捉え開放する時間を検討していく。 	12ヶ月
2	2	○事業所と地域のつきあい 新しいボランティアとの交流や地域の行事にも参加しているが一部の利用者の方に偏りがちだったり、施設での行事に参加促しているが来場者数が少なくなっている。多様なボランティアとの交流が必要	新しいボランティアの開拓や施設行事に地域の方も参加できる機会を多く作る等、交流する機会を多く持ち、施設の理解を図ると共に地域に密着した施設にしていきたい	<ul style="list-style-type: none"> 毎月来ている介護相談員と連携を密に行い、他施設のボランティア情報や介護相談員、市で把握している情報などを活用。 運営推進会議で情報交換をしていく。地域の行事にも参加し交流する機会を多く持つ。 	12ヶ月
3	35	○災害対策 定期的に避難訓練を行っている。地域の防災訓練にも参加している。備蓄に関しては十分な備蓄が出来ていない為、備蓄を備えると共に自治会との連携を深めていく。	災害時に必要な1週間分の食糧の備蓄と運営推進会議の中で定期的に災害対策を検討し、地域との連携を深め、災害時に備える。	<ul style="list-style-type: none"> 1週間分の食糧の備蓄。 運営推進会議で定期的に災害時の対応を話し合い、災害時に協力体制がスムーズに取れる様にしていく。 	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

※項目の欄は、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入するか、コピーしてページを増やして下さい。